

## 水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成28年9月30日(金) 本社会議室		
委員	角田 茂(学校法人参事) 西谷隆亘(大学名誉教授) 中村好男(大学教授) 篠原焔夫(弁護士) 栗田 誠(大学院教授)		
審査対象期間	平成28年4月1日～平成28年6月30日		
抽出案件	総件数	5 件	(備考)
工事	一般競争入札	1 件	
	公募型指名競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	1 件	
建設コンサルト	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	1 件	
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0 件	
	標準プロポーザル	0 件	
	一般競争入札	1 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約(競争性のある)	0 件	
	随意契約(特命随意契約)	0 件	
	補償契約	1 件	

### 1. 委員からの意見・質問、それに対する回答等

#### (1) 一般競争入札(工事) 【小石原川ダム本体建設工事】

意見・質問	回答
・小石原川ダムはロックフィル構造だが、近隣の江川ダムや寺内ダムはどのようなタイプのダムになるのか。	・寺内ダムはロックフィル、江川ダムは重力式コンクリートとなります。
・工期短縮に重点が置かれているが、ロックフィルダムとコンクリートダムを比較した場合に、工期短縮を図るためにはロックフィルが優れているということで今回選ばれたのか。工法による比較検討はなされたのか。	・工期短縮という視点での検討は、工法を決定した当時はなされていなかったものと思います。ただし、工法については従前から検討しており、どちらの工法でも建設は可能であるという結論を出しておりましたが、コスト面の検討をした場合、コンクリートダムを建設するとかなり河床を掘り込まなければならないということで、施工量が増えることとなります。よって、総合的にコストを含む経済性も加味して比較したときに、ロックフィルダムの方が有利であったということで決定しております。
・今回落札したJV3者は、江川ダム又は寺内ダムの施工に携わった業者か。	・両ダムともに、今回の落札者以外の会社により施工されております。
・工期を短縮すると、コストは安くなるのか、それとも高くなるのか。	・建設費については、工期が短くなると機械設備等の損料関係が短くなった分だけ安くなります。一方で、特殊な機械を使うなど機械の規模が大きくなることにより増加する部分もありますので、ケース・

意見・質問	回答
	バイ・ケースであると思います。
・今回提出のあった5社からの技術提案は、一応全部採用されているということで、不採用にしたものはなかったという理解でよいか。	・ほぼ提案は採用されておりますが、1者に対し改善要請をこちらから行い、その要請に応じた形で最終的な提案書になっておりますので、結果的には全ての提案が採用されているということになります。
・技術評価が一番低いところが最終的に価格面で高い点をとって落札することも考えられる。例えば、技術評価の高い上位3者に絞り込むなど、もう少し入札方法を工夫することは現在の制度では出来ないのか。	・段階的に技術力のある上位を幾つか選んで、その者だけで入札を行うという方法は制度としては確かあったかと思いますが、今回この工事につきましては採用しておりません。
・他の者が考えつかないような優れた技術提案があった場合に、入札に参加する他の者に対して、その技術提案の採用を義務付けるというようなことは、手続的にできないのか。	・他者に優れた提案内容が使われる様な形にしてしまうと、当然その点を牽制し、各社が持っている高度な技術に基づく提案が出てこないという面も考えられるため、最初からその業者限りという形で実施しております。
・全体の落札者を決めるときに、入札価格点を考慮せず、予定価格を下回っていれば技術点の一番高いところを決定したように思えるが。 ・評価項目には価格点と技術点があり、両方を全然考慮していないということではなく、その考慮の度合いがそれぞれの案件により違うということではないのか。今回は、技術点を7割、価格点を3割ぐらいで評価しているという理解でよいか。	・価格評価点 100 点に対して技術点を何点にするかを定めることで、技術を高く買うのか、又はお金で勝負してもらうのかということになると思いますが、それをこの工事では最大の 70 点としております。3割ということではなく、価格点と技術点はそれぞれ 100 点と 70 点が満点です。今回の総合評価は、価格点と技術点をそれぞれ算出し加算する方式となっておりますので、その点数が高い者が落札することになりますので、確かに技術点を 50 点にすれば、価格のほうで頑張れば落札しやすくなります。
・各者は、自分の技術評価点が何点かというのわかるのか。	・公表しておりますので、各社自分の点数は把握できるようになっております。

## (2) 随意契約（工事） 【新川揚水機場外ポンプ設備整備工事】

意見・質問	回答
・新たな参加希望者があったときは、部品の製作図を提供するのか。	・製作図は、その者が持っている固有の情報となることから、発注者側がそれを引き取って他の者に与えることは通常やられてないと思います。
・それであれば、当事者間で交渉することになるのか。	・基本的にはそういうことになるかと思いますが。
・参加者の有無を確認する公募手続に係る随意契約理由書であるが、従来から特定者は受注希望をもっていることと、公	・随意契約理由書の書き方については、今後全社的に統一し、記載していきたいと思います。

意見・質問	回答
<p>募手続を実施したが応募者はなかったことの両方が随契約理由として書かれてなければならないのでは。</p>	
<p>・この参加者の有無を確認する方式において、実際に新たに参加を希望する者が出てきたという事例はないのか。</p>	<p>・今のところは、こちらのほうでは把握しておりません。</p>

**(3) 簡易公募型プロポーザル（土木関係コンサルタント業務）【水路付帯施設の合理的な耐震検討業務】**

意見・質問	回答
<p>・配置予定技術者の要件として、発注者としての実務経験があればいいというのはどういう考え方によるものか。</p>	<p>・実際に業務を受注した者のみならず、発注する側であっても、しっかりとしたマネジメント経験を有していれば、この業務は実施可能であると判断したことによります。</p>
<p>・評価の点数について、「②実施方針など」については、中間点を加味するなどきめ細かな評価を行っているように見えるが、「③評価テーマ」については、技術点の評価が各項目満点か零点かという評価になっており、ある意味大ざっぱに評価されている理由はなぜか。</p>	<p>・提案の内容は、我々が聞いたことのないような優れたもの、かつ説得力のあるようなものを採用したいと考えていたことから、技術的な部分が大きく評価されるよう中間点をつくらずに、極めてすばらしいところは満点を付与し、それに達しないようなものは全て標準的だということで零点にするという判断をしたところ です。</p>
<p>・配置予定主任技術者の成績の欄になるが、これは過去に経験がないと零点かということであれば、今後永久にこういう仕事は出来ないのではないのか。</p>	<p>・通常の一般的な設計業務であれば、一般競争入札や指名競争入札による手続を行うところですが、今回は特殊であることから、ある程度の経験性やノウハウ、実績などを把握した上で選定をするということ を重視した関係上、簡易公募型プロポーザル方式を採用しております。ご指摘の新規参入については、一般的な入札契約をしていく中で、経験を積まれることを期待しているところ です。</p>

**(4) 一般競争入札（土木関係コンサルタント業務）【川上ダム工事等資料作成業務】**

意見・質問	回答
<p>・現場技術者の経験年数のところに、「発注者の事務所で支援業務を行ったことがある」との記載があるが、これは川上ダムの事務所をいうのか。</p>	<p>・例えば水資源機構の他の事務所での様々な業務マネジメント経験や、あるいは国土交通省の事務所でのマネジメントなども評価しております。</p>

**(5) 補償契約 【物件移転補償（堤内部）】**

意見・質問	回答
<p>・この土地の上にあるパイプ小屋、ブロック塀等を移転・撤去することのだが、その後借地をするのか。撤去の状況はわ</p>	<p>・抽出された案件の説明ということで、今回の説明は物件の移転の補償のみをさせていただきました。お尋ねのありました借地はこの契約の後、実施して</p>

意見・質問	回答
<p>かったが、その後の契約はどうなるのか。</p>	<p>おります。</p>
<p>・その借地の契約や賃料はどうなっているのか。また、その土地が農地である場合、農業委員会の許可等が必要であると思うが、その辺はどうなっているのか。</p>	<p>・現地は農地ではありませんので、その様な手続は不要です。また、借地の単価につきましては、近傍類似で利用している価格を使用しているところです。</p>
<p>・別途賃料を支払うことになるのか。</p>	<p>・はい。</p>

## 2. 委員会による意見の具申又は勧告

なし

## 3. 問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心1-1番地2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048-600-6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

技術管理室契約企画課長 田村 三明 (内線 2251)

技術管理室担当課長 足達 謙二 (内線 4631)

用地管財部用地補償課長 杉浦 正人 (内線 2331)